

http://www.labornetjp.org
レイバーネット
 日本から世界から
 はたらくものの
 情報ネットワーク

News Letter

No. 31

2009年2月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

社会の転換点に寄与するレイバーネットの活動を！

伊藤 彰信

レイバーネット日本が2001年2月に結成されてから、早いもので8年が経過しました。現在では会員数388名、通算アクセス件数は180万件、この2年間で会員数約100名、アクセス件数80万件増えました。2007年からの労働分野での規制緩和攻撃に対する反転攻勢の中で、一定の役割を果たすことができたのではないかと考えています。「ユニオンYes!キャンペーン」は十分なひろがりはつくれませんでした。動画配信のユニオンチューブ、レイバー映画祭など新しい分野をつくり出してきました。

今後の課題は、情報ネットワークの質の向上をはかること、たとえば、報告記事に加えて評論などの意見交換ができるようにすること、首都圏の情報だけでなく地方からの情報を増やすために地方での会員の会合を行うこと、メディアアクティビストを養成すること、部会活動を国際部だけではなく、映像・音楽・川柳などの文化活動の分野を広げることなどが必要になってくると思います。

今、「派遣切り」が社会問題になっていますが、情報発信手段の乏しい、非正規労働者のたまたかの情報を提供することは、インターネットの情報ネットワークとしてのレイバーネットとして極めて重要です。労働運動もインターネットなしに活動できなくなった時代ですから、社会の転換点での労働運動にどのように寄与できるか今後のレイバーネットの活動をつくりあげて行きたいと思っています。

(レイバーネット日本代表)



川柳による「派遣村」レポート

☆わかち愛

2009年は「派遣村」で年が明けた。世界金融危機と企業による情け容赦ない「非正規切り」のなかで、派遣村の活動は「希望の灯」になった。連合・全労連・全労協、そして「反貧困ネット」など市民団体が、垣根をこえてつながり政府を動かした。レイバーネット会員も、実行委員として、ボランティアとして、記録者として「派遣村」に関わった。ボランティアに加わった「わかち愛」さんが川柳レポートを寄せてくれた。(編集部)

炊き出しの支援に急ぐ大晦日

<ボランティアに行ってきました>

<P2につづく>

レイバーネット日本2009総会に集まろう

ことは働く者にとって、大激動の年になりました。労働者切り捨ては深刻度を増していますが、「派遣村」をはじめ対抗運動の芽も確実に生まれています。レイバーネットも「働くものの情報ネットワーク」としての真価を問われる正念場といえるでしょう。そこで2009年の総会は、「レイバーネットのこれまで・これから」と題して、じっくりディスカッションする場を持ちたいと思っています。会員の皆さんの積極的参加をお待ちしています。

日時：2009年3月20日(休) 14.00～17.00
(13.30開場)

場所：飯田橋SKプラザ地下ホール
(JR飯田橋駅東口7分)

参加費：会員無料(非会員のオブザーバー参加歓迎)

●第一部 総会 14.00～15.00

年次報告・会計報告など

●第二部 大ディスカッション 15.15～17.00

「レイバーネットのこれまで・これから」

*「これまで」の報告(伊藤彰信ほか)。

関連ショートビデオ上映。



<P1 からつづく>

抜け殻の 官庁街に 村ができ

<入村者 120名 ボランティア 310名 12/31 >
年越しの ソバに涙し月をみる

<もち入りのソバにあったか汁・好評でした>

若者に 何処から来たのと 元気づけ

<静岡から歩いてきたそうです>

宿足りず 厚労省の講堂へ 大移動

<政治決着で動き始めました>

入村に 女性の姿 ちらほらと

<気になっていたこと。中年女性の姿も。1/3夜>
食と職 住を求めて 長い列

<この国はどうなっちゃったのと怒りが！>

これがまあ 人災しかりと 眼（まなこ） 開け

<やっぱり必要！労働者派遣法の抜本改正>

知ることは 助け合いの 第一歩

<すぐ現場に駆けつけた若い女性に感動>

*入村者：499名（宿泊者 489名） ボランティア：
1692名 カンパ：2315万円（銀行振込は除く） 09年
1月5日・午前9時現在

「派遣村・英語版ビデオ」ができるまで

松原 明

レイバーネット事務局長で首都圏青年ユニオン書記長の河添誠さんから電話があったのは、2月2日の夜だった。「4日に外国特派員協会で派遣村問題の記者会見をやるんだけど、5分くらいの映像がないかな？」という話だった。私「すでにユニオンチューブにあげた3分くらいの動画があるから、それにその後の素材を肉付けすればできるかも」と気楽に答えてしまった。河添「じゃ頼むね。あとは外国特派員協会の担当者となぐらから」。

そしてビデオ編集を はじめて翌日の夕方には、6分にまとめることができた。すぐ外国特派員協会の担当者Tさんに連絡した。そしたらTさん「それ英語ついてますか?」。「え！日本語ですけど・・・」ガーンときた。外国特派員協会でするんだから、日本語のビデオではだめなのだ。Tさんは「テキスト文書があれば同時通訳でもやることも可能です」とフォロー。でもせっかくなつくったのだから、同時通訳でなくちゃんと見せたい、とつい欲が出た。

私の「ブローケン英語」でもつけよう かと思ったが、もしかしてと思い、レイバーネット国際部のメーリングリストに相談してみた。「6分のビデオの翻訳をあす朝までにやってくれる人がいれば 助かる」と流したら、5分後にMさんから電話がきた。「私がやります」と。そのうえ同じ国際部のSさん（ニュージーランド出身）がネイティブチェックまでしてくれることになった。こうして翌日4日の午前10時にはハイレベルな翻訳が完了。その後、私が字幕付けをして、午後3時の記者会見にぎりぎり間に合った。

40人ほど集まった会見場で、冒頭これを上映した。派遣村の雰囲気は伝わったはずだが、その場ではと



外国特派員協会での派遣村問題の記者会見(2月4日)

くに反応はなかった。そして、帰宅すると外国特派員協会担当者から電話があった。「イタリアテレビの人が記事を書きたいので、もう一度ビデオを見たいと言っている。対応してもらえないか」という内容だった。うれしかった。それにしても、「打てばひびく」レイバーネット国際部の機動力に改めて感心した。レイバーネットのネットワークとしての底力はこういうところにあるのだ、と思った。

(レイバーネット副代表)

* 6分ビデオ「Tent City for Jobless (派遣村)」は国際部ブログ (<http://labornetjp.blogspot.com/>) で公開中。

新連載コラム「江藤正修の眼」スタート

レイバーネットのウェブサイトで、新コラム「江藤正修の眼」の連載が始まった。江藤さんは、1977年「労働情報」創刊時から事務局員として活躍。現在は「現代の労働研究会」事務局員をしているが、労

働運動を見る「眼」は深く鋭い。1月24日付けの第一回コラムでは派遣村を「自主的社会運動の出現」として捉え、問題提起している。今後の論説を期待したい。

レイバーフェスタ 2008 開かれる 風刺と笑いと怒りと



12月20日「レイバーフェスタ2008」が都内で開催され、280人が集い楽しんだ。恒例の3分ビデオは当事者が現場から発信したものばかりで、非正規のひどい実態を訴える作品が並んだ。ユーモアを交えたものが多く、怒りと笑いが交差した。「ワーキングブア川柳」では「ふざけるな 女は前から 非正規だ」の句が一番に選ばれた。「文化の力」をテーマにしたディスカッションで松原明さん（レイバーネット副代表）は、「文化の力は、風刺と笑いと怒りにあると思う。今回の作品群は、時代を反映して身につまされるものばかり。そんな“他人事ではない”という意識から連帯が生まれるのではないか」と語った。最後のソウル・フラワーのライブで会場の熱気はピークに達し、「インターナショナル」の時には参加者が踊り出す場面もあった。



新入会員紹介

★不当な免職とたたかっています 足田哲也

ジョニーHこと足田哲也です。私は25年間東京の公立中学校教諭として多様な教育活動を展開し、青島幸男都知事時代に性教育パンフレット作成委員に選ばれました。石原慎太郎都知事になり、多額献金している特定宗教団体が、政治家や新聞記者を使い、性教育推進リーダーを教育界から追放しました。私も、彼らの息のかかる管理職によってリークや悪口を広められ、2005年度途中で突然、東京都教育委員会から不適格教員として分限免職されました。その取消を求めて現在係争中です。教育を食物にする政治家や請け負う教育関係者は許せません。被害者は子どもたちです。レイバーネットに参加し、他の労働問題の図式が私の場合と類似していることを学習しました。一緒に活動しましょう。

★職場でビデオを活用しています 澤根好郎

2月6日に新規入会しました佼成学園教職員組合・書記長をしております澤根と申します。我が組合は、有期雇用（非常勤講師、専任講師）で結成され、本年2月13日で結成8年を迎えようとしています。この間に毎年1～2度の割合で、西部地区の私立学校に呼び掛け、佼成学園内でビデオプレス制作の「人らしく生きよう」「君が代不起立」などのビデオ上映会および講演会等を行ってきました。今後も地道に

一歩一歩活動が続けて行く所存です。簡単ではございますが御挨拶に代えさせていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

★「派遣村」ボランティアがきっかけ 前田ナイ

前田ナイ（Mimi Maeda-Nye）と申します。英国の大学の街、オックスフォードで翻訳通訳会社を営み、皆さんの言語支援をしています。去年の10月から一年間、東大の社研で娘が研究しているので、渡英後初めて冬に日本に戻りました。その際、娘と一緒に日比谷公園の派遣村で6日間ボランティア活動を行いました。湯浅さん、関根さん、池田さん、名誉村長の宇都宮弁護士、なつめ先生そして若い弁護士、東海林さんなど数多くの方々と一緒に頑張りました。

その後帰英後も、派遣村の村民達と交流し応援していますが、引き続きなんらかの形で支援活動などができればと考えています。5月か6月に日本訪問予定です。レイバーネットのことは、「派遣村」という言葉がでるとメールが届くよう設定して活動を知りました。まだ詳細は読む暇がありませんが、考えに賛同し入会しようと思いました。ニックネームはMimi（ミミ・派遣村でもこれを使用）です。どうぞよろしくお願いします。

（会社＝ジャパニーズ・コネクション&TJCグローバル <http://japanco.co.uk/default.aspx>

・<http://www.tjc-global.co.uk/?pid=home&lang=ja>）

インフォメーション

●「希望の歌 コッタジ」がやってくる

レイバーフェスタ2005を、おおいに盛り上げてくれた韓国の民衆歌謡グループ「希望の歌コッタジ」。その「コッタジ」が、また日本にやって来ます。昨年5月、沖縄の平和大行進に韓国から「コッタジ」、民俗楽器の演奏グループ「トヌム」など21名が参加しました。そして辺野古・高江を訪問し、米軍基地建設反対の闘いを行っている方々と交流しました。その流れを受け継ぎ、5月2日、東京の上野公園野外ステージ（水上音楽堂）で「あんにょんハイサイわくわくコンサート」を行います。私たちは戦争のない、差別のない、平和な世界をめざします。平和への思いを共に叫んでいきたいと思ひます。コンサートへのご賛同・ご協力をお願いいたします。

＜出演予定＞「希望の歌コッタジ」、「トヌム」、寿、生田町とラヒンカユマンギ、アエ☆ユニット（在日コリアン）、琉球舞踊、朝鮮舞踊、辺野古・高江のアピール、在日アピール他

5月2日（土）午後2時半開場 3時開演 7時終演
上野公園野外ステージ 前売り1500円 当日2000円 小中学生無料

賛同金：個人1口1000円 団体1口3000円

主催：あんにょんハイサイわくわくコンサート実行委員会

共催：韓国わくわく文化学校教師協会

連絡先：尾澤邦子 TEL/FAX 03-5680-3017 メール kottajiozawa@yahoo.co.jp

●JRウォッチが辻井さんを励ます会

組合バッジを付けているだけで処分を繰り返す異常な会社＝JR東日本。国労つぶしは終わってはいない。いまはたった一人になったが、辻井義春さんはスジを曲げずに頑張っている。そこで、JRウォッチ（JRに安全と人権を！市民会議 代表＝佐高信）は、3月6日18.30からSKプラザホールで「たかがバッジされどバッジ～JR東日本に人権を！辻井さんを励ます会」を開催することになった。集会の中身は、レイバーフェスタ関係者が全面協力し、さまざまな表現でこの問題を訴える。壺花花さんの漫画（別掲）はじめ、ジョニーHさんの「バッジの歌」、湯本雅典さんのビデオが初披露される。さあ、文化のチカラで反転攻勢だ。詳細→03-3511-3386

●「労働」テーマに反貧困フェスタ2009

昨年に引き続き「反貧困フェスタ」が3月28日（土）、東京・一橋中学校で開催される。今回のフェスタでは、「今、はたらく、が危ない」（仮）をテーマに、真正面から「労働」をとりあげます。「派遣切り」など

の状況が深刻化し、正規も非正規も関係なく大量失業時代に突入し、人間らしい働き方が失われつつある現在、社会保障、セイフティネットは機能しているのでしょうか。雇用対策や労働者派遣法改正などについて、また、女性、障害者、福祉・介護の現場、教育の現場、官製ワーキングプア問題などの具体

例を示しつつ、横断的に「働く」の危機を考えます。昨年同様、千代田区内の中学校を借りて、教室・体育館・校庭でさまざまな企画を同時並行的に行う「おまつり（フェスタ）」です。

10:00～16:30まで。詳細→反貧困ネットワーク事務局 Tel&Fax 03-6431-0390

●メディアールが4月から春の講座

08年6月にスタートした「市民メディアセンター MediR」は、1年の始動期間を経て、ことし4月からより本格的な活動を開始する。松原明・土屋トカチが講師を務める「3分ビデオ制作講座」をはじめ、木下昌明の映画講座、レイバーフェスタ川柳チームによる「ワーキングプア川柳講座」、風刺漫画講座、パソコン講座などレイバーネット会員関連企画も充実している。新しいメディアスペースをみんなで支え、拡げていきたい。なお、4月12日（日）14～17時には明治大学リパティタワーで「春の講座オープニングイベント」も計画されている。→<http://medir.jp>

●映画「フツの仕事がしたい」が香港国際映画祭に招待

ユニオンの意義を正面から描いたドキュメンタリー映画「フツの仕事がしたい」（土屋トカチ制作）は、全国主要都市での劇場公開や自主上映で大きく広がっているが、この3月には、初めて海外で上映されることになった。3月22日から4月13日まで香港で開催される「香港国際映画祭」で招待上映が決まり、土屋トカチさんも出席する。日本のアクティブなユニオン運動が世界に知られていく記念すべき第一歩である。



マンガ：壺花花

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 388 名

ウェブアクセス 1日 1500

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578